

アピール

本日、「北方領土の日」にあたり、私たちは我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の早期返還実現を目指し「平成23（2011）年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。

本年は、北方四島が不法に占領され66年、北方領土の日が制定され30年も経過しましたが、問題の解決にこれ以上歳月をかけることは断じて許すわけにはいきません。

昨今、ロシア政府は、領土問題に独創的アプローチで取り組むと言いながらも交渉は一向に進展しておりませんでした。こうした中、昨年11月にはロシア大統領が国後島を訪問しました。領土問題を無視した行為はとうてい看過できません。領土問題は未曾有の危機を迎えた感は否めません。

本大会では、苦境の時こそ政府と国民が一体となりこれまで以上に連携・連帯を深め国内外に向け広範な返還要求運動に取り組み、政府においては領土問題解決に向けた日露交渉を加速するなど、意思統一が確認されました。

私たちは、一刻も早い北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一. 私たちは、必ずや北方四島を私たちの手に取り戻します。
- 一. 私たちは、地域・職場・学校・家庭など、あらゆる場で啓発活動を行います。
- 一. 私たちは、全国の仲間との連携をさらに深めるとともに、署名活動をより一層推進します。
- 一. 私たちは、「北方領土返還・四島交流促進議員連盟」と連携し、返還実現に向け政・官・民のさらなる団結を深めます。
- 一. 私たちは、北方四島ビザなし交流など、あらゆる機会を活かし、ロシア国民に北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを強く訴えます。
- 一. 私たちは、択捉島の紗那に残存する日本の建物保存に取り組みます。
- 一. 私たちは、北方四島ビザなし交流の拡大を視野に、ビザなし交流などに使用する船舶の建造が着実に推進されるよう取り組みます。

平成23（2011）年2月7日北方領土の日
平成23年北方領土返還要求全国大会